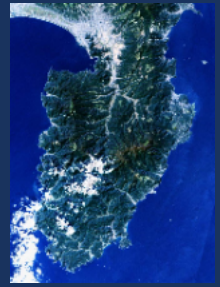
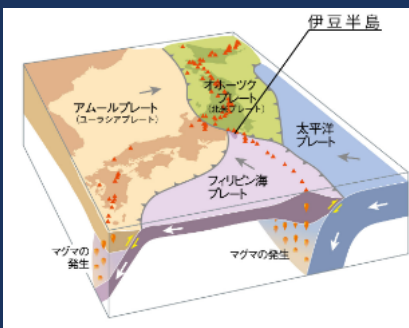




私達が住んでいる伊豆半島には、色々な魅力があります。この土地の成り立ちを調べてみると、大地が色々な形で変化して今の伊豆半島が出来たことがわかりました。



「伊豆半島の成り立ち」



約2000万年前、伊豆は本州から数百km南、現在の硫黄島付近の緯度にあった海底火山群でした。フィリピン海プレートの上でできた海底火山や火山島はプレートとともに北に移動し、やがて本州に衝突して現在のような半島の形になりました。約60万年前の出来事です。

「斜交層理」

長岡中学校には斜交層理という一定の水の流れの中においてれきや砂などの碎屑物が堆積を繰り返すことによってできるものがあります。この地層があることによってここは昔、海だったことがわかります。



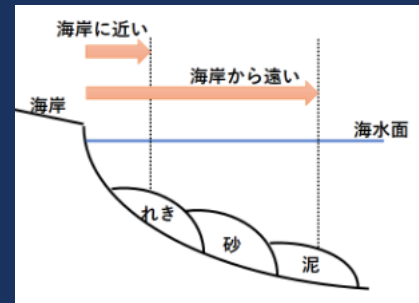
長岡中学校の坂にある斜交層理



れき岩を含む地層

「浅い海」

左の写真を見ると地層の中に小さな石があることがわかります。この石はおよそ2mm以上の小石なのでこの岩石はれき岩だということがわかります。この地層がれき岩で斜交層理であるということは、ここは浅い海だったということがわかります。



粒の名前	粒の大きさ
れき	2mm以上
砂	2mm~0.06mm
泥	0.06mm以下

「まとめ」

大地には様々な秘密があります。普段何気なく過ごしている大地でも、昔は海の底のように今とは違う所にあったかもしれません。私もまだ分からないことがあるので、これからもっと調べていきたいと思います。